

(5) 五反田山下生態系エリア

ア 流域の概況

- ・麻生区北東部、多摩区東部から中部などの丘陵部の地域（麻生区高石、細山、多摩区西生田、栗谷、生田、三田、枳形などの地域）。多摩川流域に含まれている
- ・五反田川・山下川が流れている。北側に特別緑地保全地区等が多く位置している
- ・多摩丘陵に位置し、斜面緑地が連なる多摩川崖線が横断し、首都圏を代表する緑豊かな生田緑地を含む

イ 流域の状況



ウ 主な拠点（コア）及び回廊（コリドー）

(ア) 五反田川

位置	主な拠点（コア）	回廊（コリドー）	特徴	取組の方向性
中流域（コア①）	多摩・多摩美（特緑保）、麻生鳥のさえずり公園（麻生区市民健康の森）、多摩美緑地、多摩美1丁目緑地、多摩美台公園、緑地保全協定地 ＜面積＞8.7ha	五反田川	・丘陵地の特別緑地保全地区、公園、緑地保全協定地の緑地がコアを形成	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり ・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進
中流域（コア②）	三田第2公園 ＜面積＞0.9ha	五反田川	・斜面地上にある公園の緑地がコアを形成 ・公園の緑地が五反田川との結節点（五反田川結節点①）	・地域特性に応じた公園等整備の推進
下流域（コア③）	東生田（保全地域） ＜面積＞4.2ha	五反田川	・丘陵地の緑の保全地域の樹林地がコアを形成	・保全した樹林地の保全管理の推進

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
下流域 (コア④)	生田緑地 <面積>93.3ha	五反田川	・市内最大規模の緑地がコアを形成 ・湧水や池、水路があり水辺地を形成 ・近隣の緑地等と連続性のある緑としてコアを形成	・生田緑地ビジョンに基づき、自然環境を活かした総合公園として整備 ・多様な主体による取組の推進

注) 主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①多摩特別緑地保全地区



コア②三田第2公園



コア②五反田川中流域地点※



コア③五反田川下流域地点※

(イ) 山下川

※生物多様性に配慮し、今後改善すべき地点

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
中流域 (コア①)	菅馬場谷(特緑保)、緑地 保全協定地 <面積>2.0ha	山下川	・丘陵地の特別緑地保全地区、緑地保全協定地の緑地がコアを形成 ・特別緑地保全地区が山下川との結節点(山下川結節点①)	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり ・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進
中流域 (コア②)	生田寒谷(特緑保)、緑地 保全協定地 <面積>1.5ha	山下川	・丘陵地の特別緑地保全地区、緑地保全協定地の緑地がコアを形成 ・緑地保全協定地が山下川との結節点(山下川結節点②)	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進

注) 主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①菅馬場谷特別緑地保全地区



コア②生田寒谷特別緑地保全地区



コア②緑地保全協定地付近

参考 主な拠点(コア)及び河川で活動している緑の活動団体等

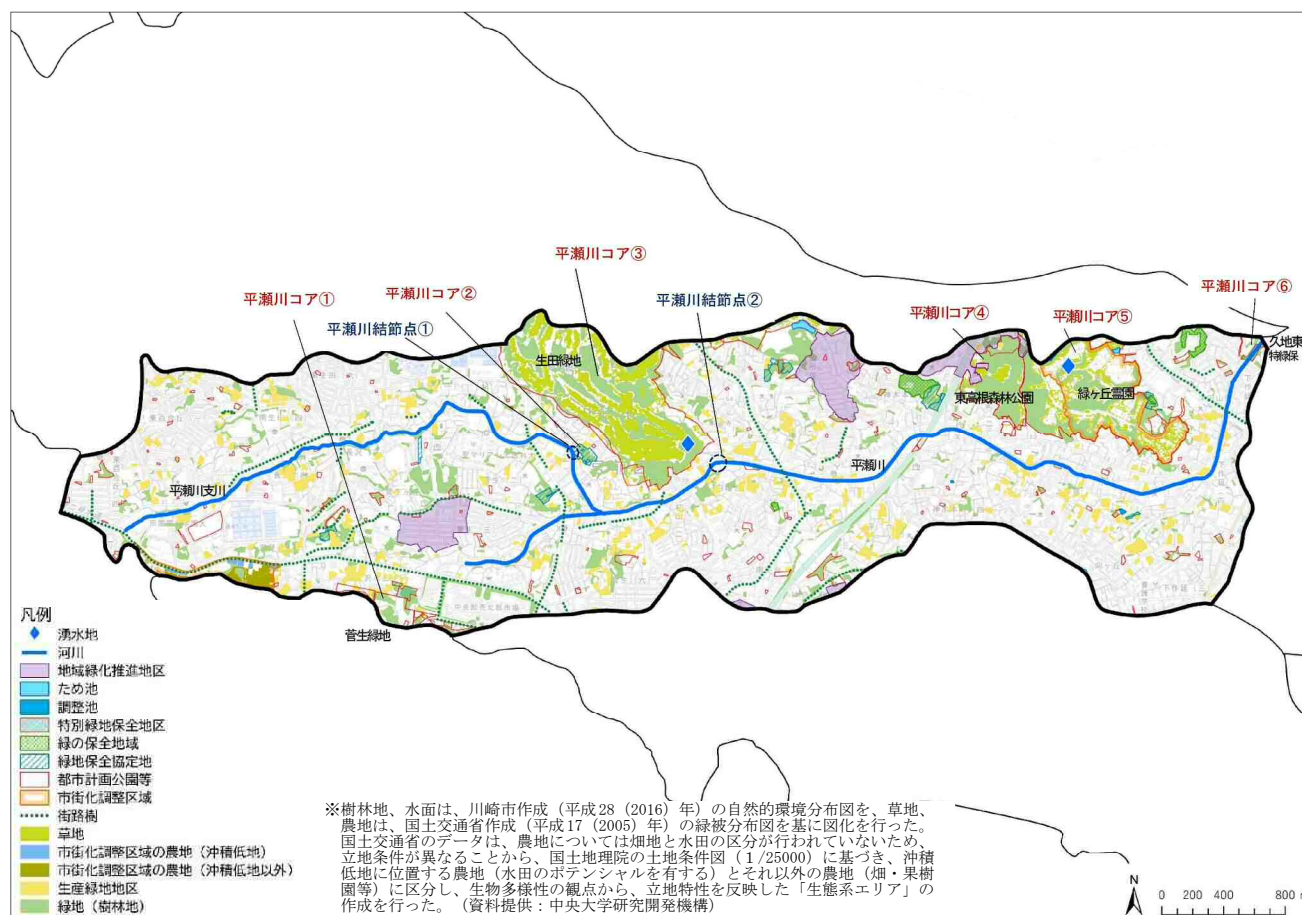
場所	活動団体等	備考
多摩特別緑地保全地区	こもれびの会	保全管理計画作成地、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞(H28)
多摩美特別緑地保全地区	多摩美特別緑地保全地区の緑を守る会	保全管理計画作成地
麻生鳥のさえずり公園 (麻生区市民健康の森)	麻生多摩美の森の会	
三田第2公園	三田第2公園管理運営協議会	「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞(R2)
五反田川沿い	五反田自治会	
菅馬場谷特別緑地保全地区	まほろばの会	保全管理計画作成地、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞(H29)
生田寒谷特別緑地保全地区	生田ふれあいの森愛護会・生田山の手自治会	保全管理計画作成地
東生田緑の保全地域(多摩区市民健康の森)	日向山うるわし会	保全管理計画作成地
生田緑地	特定非営利活動法人かわさき自然調査団※1・生田緑地の雑木林を育てる会※2・生田緑地の谷戸とホトケドジョウを守る会・もみじ会※3	※1「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞(H30)、地域環境保全功労者表彰(環境大臣表彰)受賞(H28) ※2「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞(R2) ※3川崎市環境功労者表彰受賞(R2)

(6) 平瀬生態系エリア

ア 流域の概況

- ・麻生区東部、多摩区南部及び宮前区北東部、高津区北西部など丘陵部の地域。多摩川流域に含まれる
- ・平瀬川及び平瀬川支川が流れている
- ・首都圏を代表する緑豊かな生田緑地や緑ヶ丘霊園を含む

イ 流域の状況



ウ 主な拠点（コア）及び回廊（コリドー）

位置	主な拠点（コア）	回廊（コリドー）	特徴	取組の方向性
源流域（コア①）	菅生緑地 ＜面積＞11.0ha	平瀬川	・緑地のまとまりのある緑がコアを形成 ・湿地や水路があり水辺地を形成	・里山の自然環境に親しめる市民健康の森として、市民との協働により整備・管理の推進
中流域（コア②）	緑地保全協定地	平瀬川支川	・緑地保全協定地の緑地がコアを形成 ・緑地保全協定地の緑地が平瀬川支川との結節点（平瀬川結節点①）	・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進 ・生物多様性に配慮した環境整備の推進

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
中流域 (コア③)	生田緑地 ＜面積＞93.3ha	平瀬川	・市内最大規模の緑地がコアを形成 ・湧水や池、水路があり水辺地を形成 ・近隣の緑地等と連続性のある緑としてコアを形成 ・とんもり谷戸から初山親水広場を流れる水路が平瀬川との結節点（平瀬川結節点②）	・生田緑地ビジョンに基づき、自然環境を活かした総合公園として整備 ・多様な主体による取組の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり
中流域 (コア④)	東高根森林公園 ＜面積＞13.0ha	平瀬川	・神奈川県管理の緑地であり、豊かな樹林等がコアを形成 ・湿地や小川があり水辺地を形成 ・近隣の緑地等と連続性のある緑としてコアを形成	・神奈川県と連携した取組の推進
下流域 (コア⑤)	緑ヶ丘霊園 ＜面積＞49.5ha	平瀬川	・霊園内の緑地がコアを形成 ・湧水地があり水辺地を形成	・自然環境の保全の取組
下流域 (コア⑥)	久地東（特緑保） ＜面積＞0.6ha	平瀬川	・緑地がコアを形成 ・河川は暗渠構造	・保全した樹林地の保全管理の推進

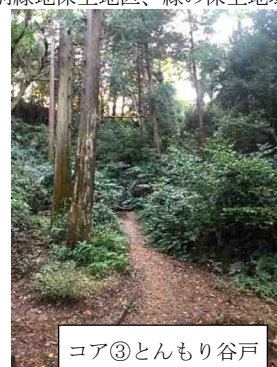
注）主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①菅生緑地（西地区）



コア③生田緑地



コア③とんもり谷戸



初山親水広場



平瀬川中流域地点（生田緑地近隣）※



コア⑤緑ヶ丘霊園



コア⑥久地東特別緑地保全地区

※生物多様性に配慮し、今後改善すべき地点

参考 主な拠点（コア）及び河川で活動している緑の活動団体等

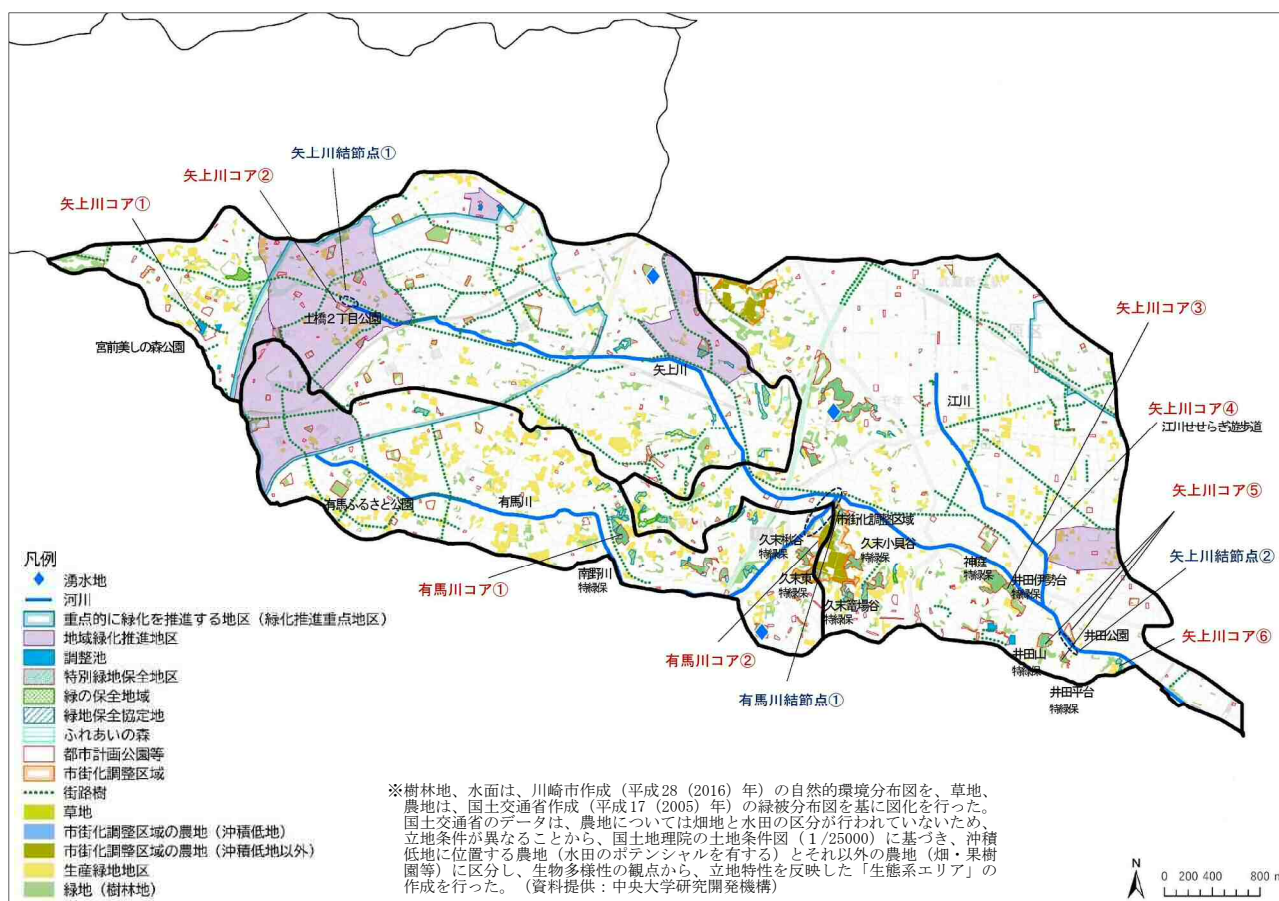
場所	活動団体等	備考
菅生緑地（宮前区市民健康の森）	水沢森人の会	
生田緑地飛森谷戸（とんもり谷戸）	飛森谷戸の自然を守る会	国土交通大臣表彰手づくり郷土賞（地域活動部門）受賞（H26）、かながわ地球環境賞地球環境保全活動部門受賞（H27）
東高根森林公園	あじさいクラブ	
緑ヶ丘霊園	NPO 法人鶴見川流域ネットワークキング	エコシティたかつ
平瀬川親水橋周辺	平瀬川流域まちづくり協議会	ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞（H27）、地域環境保全功労者表彰（環境大臣表彰）受賞（H28）、かながわ地球環境賞地球環境保全活動部門受賞（H27）
平瀬川かすみ堤防付近	久地東町会	

(7) 矢上有馬生態系エリア

ア 流域の概況

- ・宮前区中南部から高津区南部及び中原区・幸区南西部などの地域。鶴見川流域に含まれる
- ・矢上川・有馬川が流れ、有馬川は矢上川に合流し、矢上川は鶴見川に合流する
- ・農地や樹林地等が分散して、残されている

イ 流域の状況



ウ 主な拠点（コア）及び回廊（コリドー）

(ア) 矢上川

位置	主な拠点（コア）	回廊（コリドー）	特徴	取組の方向性
源流域（コア①）	宮前美しの森公園 ＜面積＞1.2ha	矢上川	・公園内の緑地がコアを形成 ・水の流れが整備され水辺地を形成	・地域特性に応じた公園等整備の推進
中流域（コア②）	土橋2丁目公園 ＜面積＞0.4ha	矢上川	・公園内の緑地がコアを形成 ・公園の緑地が矢上川との結節点（矢上川結節点①）	・地域特性に応じた公園等整備の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり
下流域（コア③）	神庭・井田伊勢台（特緑保） ＜面積＞3.2ha	矢上川	・丘陵地の特別緑地保全地区の緑地がコアを形成	・保全した樹林地の保全管理の推進
下流域（コア④）	江川せせらぎ遊歩道	矢上川・江川	・江川沿いの緑地がコアを形成	・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
下流域 (コア⑤)	井田山・井田平台(特緑保)、井田公園 <面積>2.1ha	矢上川	・丘陵地の特別緑地保全地区の緑地がコアを形成 ・公園の緑地が矢上川との結節点(矢上川結節点②)	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・地域特性に応じた公園等整備の推進
下流域 (コア⑥)	緑地保全協定地	矢上川	・緑地保全協定地の緑地がコアを形成	・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進

注) 主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①宮前美しの森公園



コア②土橋2丁目公園



コア③神庭特別緑地保全地区



コア④江川せせらぎ遊歩道



コア⑤井田山特別緑地保全地区

(イ) 有馬川

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
中流域 (コア①)	南野川(特緑保)、緑地保全協定地 <面積>1.0ha	有馬川	・特別緑地保全地区や緑地保全協定地の緑地がコアを形成	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・地権者の理解と協力を得ながら樹林地保全施策の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり
下流域 (コア②)	久末竈場谷、久末小貝谷、久末東、久末楸谷(特緑保)、市街化調整区域 <面積>4.0ha	有馬川	・特別緑地保全地区の緑地や市街化調整区域の緑地・農地がコアを形成 ・市街化調整区域の緑地・農地が有馬川との結節点(有馬川結節点①)	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・都市農地の保全

注) 主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①南野川特別緑地保全地区



コア②有馬川下流域地点※



コア②市街化調整区域(久末)

※生物多様性に配慮し、今後改善すべき地点

参考 主な拠点(コア)及び河川で活動している緑の活動団体等

場所	活動団体等	備考
宮前美しの森公園	矢上川源流美しの森管理会、宮前美しの森愛護会	
神庭特別緑地保全地区	神庭・里山を楽しむ会	保全管理計画作成地、川崎市環境功労者表彰受賞(H30)
井田伊勢台特別緑地保全地区	伊勢台緑地保存会	
井田山特別緑地保全地区(中原区市民健康の森)	中原区市民健康の森を育てる会	保全管理計画作成地
江川せせらぎ遊歩道	井田共和会第二町会	
井田平台特別緑地保全地区	井田平台緑地	保全管理計画作成地
矢上川	土橋矢上クラブ、シャルマン南加瀬園芸クラブ、矢上川で遊ぶ会	
南野川特別緑地保全地区	南野川特別緑地保全地区管理運営協議会(野川はあも)	保全管理計画作成地
久末東特別緑地保全地区	NECプラットフォームズ株式会社※1、久末ふれあいの森を育てる会	保全管理計画作成地、※1 かながわ地球環境賞地球環境保全活動部門受賞(H29)
有馬川	ローズウォークガーデナーズ	

五反田山下生態系エリア、平瀬生態系エリア、矢上有馬生態系エリアで確認された主な植物・生き物

○調査概況

調査地点	主な環境		
	樹林	草地	水辺・湿地
A:緑ヶ丘霊園	○	○	○
B:南野川周辺（南野川ふれあいの森）	○		
C:南野川周辺（野川ふれあいの森）	○	○	
D:久末ふれあいの森	○	○	

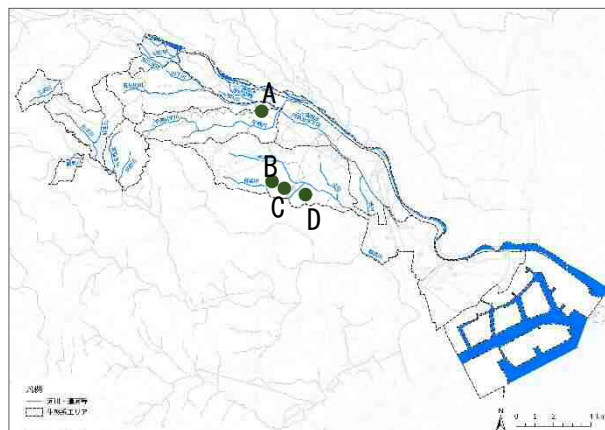
A:緑ヶ丘霊園



樹林



水辺



B:南野川周辺（南野川ふれあいの森）



樹林



樹林

C:南野川周辺（野川ふれあいの森）



樹林



草地

D:久末ふれあいの森



樹林



草地

	植物	哺乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	計
確認種数	694 種	4 種	41 種	5 種	4 種	460 種	1,208 種

※調査は、専門知識を有する事業者により季節毎に半日程度、調査対象地を任意に踏査して実施した。
（参考資料1 3 市域の生き物情報参照）

※市内河川における水生生物については、水環境保全計画に基づき、市内全12地点を4地点ずつ3年間のローリング方式で、夏季の一日に調査を実施している。調査地点は以下のとおり。（参考資料1 3 市域の生き物情報参照）

・五反田川大道橋 ・平瀬川正安橋 ・矢上川日吉橋 ・有馬川住吉橋

○確認された主な植物・生き物



シラカシ



コナラ



シュンラン



ニホンカナヘビ



エナガ



ジョウビタキ



カブトムシ



イボバッタ



オニヤンマ



ダイミョウセセリ

その他、このエリアで確認された主な植物・生き物

植物	エノキ、ミズヒキ、キツリフネ、タチツボスミレ、ムラサキシキブ、セリ、ヒメガマ、アゼガヤツリ、クサイチゴ、アキノタムラソウ、キツネノカミソリ
哺乳類	アズマモグラ、タヌキ
鳥類	ウグイス、ホオジロ、カルガモ、カワウ、ハクセキレイ
両生・は虫類	ニホンアマガエル、ヤマアカガエル、ニホンヤモリ
魚類	オイカワ、モツゴ、アユ
昆虫類	ヒグラシ、コクワガタ、ウラナミアカシジミ、サトキマダラヒカゲ、オオミズアオ、オオアオイトトンボ、キアゲハ

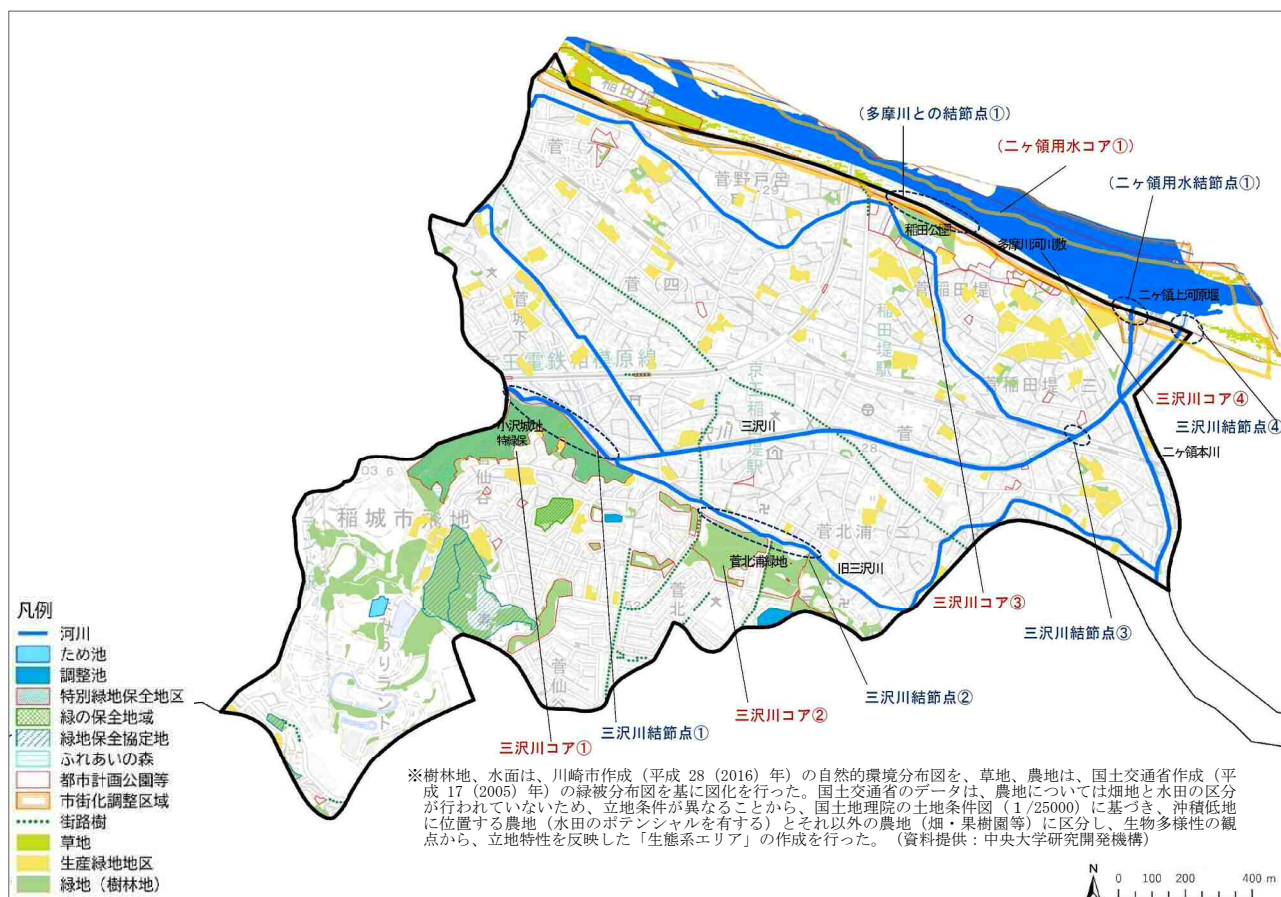
(環境省レッドリスト・神奈川県レッドデータブックに記載される種は除いています)

(8) 三沢川生態系エリア

ア 流域の概況

- ・多摩区北西部に位置し、菅、菅城下、菅野戸呂、菅稲田堤などの地域で、多摩川低地に位置し、多摩川流域に含まれており、三沢川が流れている
- ・生産緑地地区が点在している

イ 流域の状況



ウ 主な拠点（コア）及び回廊（コリドー）

位置	主な拠点（コア）	回廊（コリドー）	特徴	取組の方向性
中流域（コア①）	小沢城址（特緑保） ＜面積＞6.8ha	三沢川	・丘陵地の特別緑地保全地区の緑地がコアを形成 ・特別緑地保全地区の緑地が三沢川との結節点（三沢川結節点①）	・保全した樹林地の保全管理の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり
中流域（コア②）	菅北浦緑地 ＜面積＞5.5ha	三沢川・旧三沢川	・緑地がコアを形成 ・緑地が旧三沢川との結節点（三沢川結節点②）	・地域特性に応じた公園等整備の推進
中流域（コア③）	稲田公園 ＜面積＞3.2ha	三沢川・水路	・公園の緑地がコアを形成 ・公園から流れる水路が三沢川との結節点（三沢川結節点③）	・地域特性に応じた公園等整備の推進
下流域（コア④）	多摩川緑地	三沢川・多摩川	・多摩川河川敷の緑地がコアを形成 ・多摩川河川敷の緑地が三沢川との結節点（三沢川結節点④）	・水と緑の連続性・回遊性の確保の推進

注）主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①小沢城址特別緑地保全地区※



三沢川中流域地点※



コア②菅北浦緑地



コア③稲田公園



コア③稲田公園



コア④多摩川緑地

※生物多様性に配慮し、今後改善すべき地点

参考 主な拠点（コア）及び河川で活動している緑の活動団体等

場所	活動団体等	備考
小沢城址特別緑地保全地区	小沢城址里山の会	保安全管理計画策定地

《コラム》市民緑地認定制度の活用

市民緑地認定制度とは、民有地の利活用、都市における緑地の確保に向け、民間主体が民有地を「市民緑地」として整備し、一定期間公開する制度です。対象となる民有地としては、空き地を活用した緑地のほか、個人や企業所有の既存緑地、開発に伴い創出される緑地、公開される工場緑化などです。設置可能区域は川崎市内に8か所ある「緑化推進重点地区」内ですが、認定を受けるメリットとして、「公的な緑に位置づけられ、自治体のホームページなどを通じて大勢の人々に知ってもらうこと」、「市の指定を受けた団体（緑地保全・緑化推進法人）が設置する市民緑地については、固定資産税や都市計画税が軽減される」などがあります。

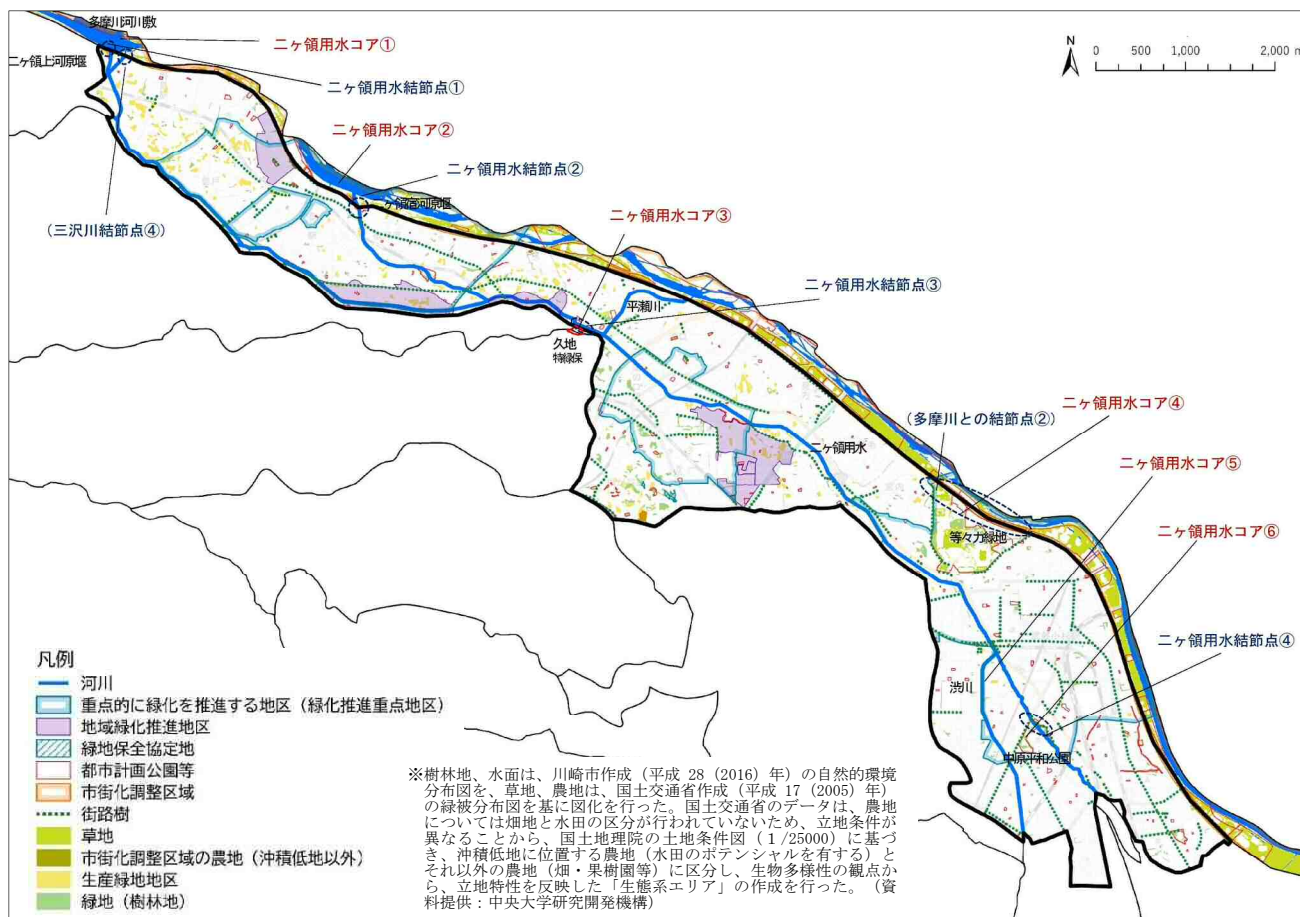
こうした取組を進めることで、緑地やオープンスペースが少ない地域においても、地域住民の活動場所となる緑地空間（オープンスペース）が創出されるとともに、生き物の生息・生育の空間の創出にもつながります。

(9) ニヶ領用水生態系エリア

ア 流域の概況

- ・多摩川低地に位置し、多摩区、高津区、中原区及び幸区の地域で、多摩川流域に含まれている
- ・ニヶ領用水は、ニヶ領本川、上河原線、宿河原線、円筒分水下流などで構成されている
- ・様々な箇所で見守り整備が実施されている

イ 流域の状況



ウ 主な拠点（コア）及び回廊（コリドー）

位置	主な拠点（コア）	回廊（コリドー）	特徴	取組の方向性
上流域（コア①）	ニヶ領上河原堰	ニヶ領本川 上河原線・多摩川	・多摩川河川敷の緑地がコアを形成 ・多摩川河川敷の緑地がニヶ領本川上河原線との結節点（ニヶ領用水結節点①）	・水と緑の連続性・回遊性の確保の推進 ・河川改修の機会を捉え、地域特性を踏まえた川づくり
上流域（コア②）	ニヶ領宿河原堰	ニヶ領用水 宿河原線・多摩川	・多摩川河川敷の緑地がコアを形成 ・多摩川河川敷の緑地がニヶ領用水宿河原線との結節点（ニヶ領用水結節点②）	・水と緑の連続性・回遊性の確保の推進
中流域（コア③）	久地（特緑保） <面積>0.8ha	ニヶ領用水	・特別緑地保全地区の緑地がコアを形成 ・特別緑地保全地区の緑地がニヶ領用水との結節点（ニヶ領用水結節点③）	・保全した樹林地の保全管理の推進

位置	主な拠点 (コア)	回廊 (コリドー)	特徴	取組の方向性
中流域 (コア④)	等々力緑地 <面積>43.6ha	二ヶ領用水	・公園内の緑地がコアを形成 ・池があり水辺地を形成	・等々力緑地再編整備実施計画に基づく整備の推進
下流域 (コア⑤)	渋谷	二ヶ領用水	・渋谷沿いの緑地がコアを形成	・小杉地区の再編整備に合わせ、空間整備の推進
下流域 (コア⑥)	中原平和公園 <面積>4.1ha	二ヶ領用水	・公園内の緑地がコアを形成 ・公園の樹林地が二ヶ領用水との結節点(二ヶ領用水結節点④)	・地域特性に応じた公園等整備の推進

注) 主な拠点の面積は、記載されている特別緑地保全地区、緑の保全地域及び都市公園等の合計面積



コア①二ヶ領上河原堰



コア③久地特別緑地保全地区



コア③久地特別緑地
保全地区付近



久地円筒分水



コア⑤渋谷



コア⑥中原平和公園



コア⑥中原平和公園

参考 主な拠点（コア）及び河川で活動している緑の活動団体等

場所	活動団体等	備考
久地特別緑地保全地区	津田山緑地里山の会	保安全管理計画策定地
二ヶ領用水	布田っ子花クラブ、バラロード新開、ばら苑アクセスロード花壇ボランティアの会、二ヶ領用水宿河原堀を愛する会、久地円筒分水サポートクラブ、二ヶ領用水中原桃の会、二ヶ領用水中原桃の会プロジェクト21	

《コラム》今の二ヶ領用水

高度経済成長期の住宅化に伴い、昔からの様相を大きく変えていますが、様々な箇所で見守り整備が実施されています。また、暗渠化や蓋掛けがされている区間においても、上部を緑道や公園として利用している箇所もあります。

平間配水所より下流の区間は、多くの水路が道路や宅地へと変わっていますが、昔の水路を復元している区間（大師堀）や緑道として整備している区間（町田堀）もあります。

三沢川生態系エリア、二ヶ領用水生態系エリアで確認された主な植物・生き物

○調査概況

調査地点	主な環境		
	樹林	草地	水辺・湿地
A:川崎市緑化センター及び二ヶ領用水	○	○	○
B:中原平和公園及び二ヶ領用水	○	○	○

A:川崎市緑化センター及び二ヶ領用水



樹林



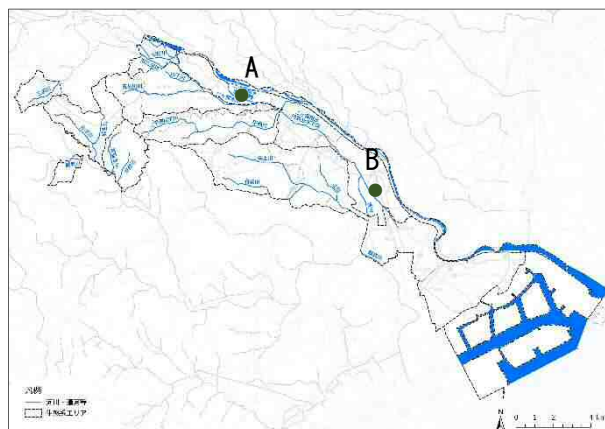
草地



水辺



水辺



B:中原平和公園及び二ヶ領用水



樹林



樹林



草地



水辺

	植物	哺乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	計
確認種数	660 種	2 種	33 種	4 種	1 種	252 種	952 種

※調査は、専門知識を有する事業者により季節毎に半日程度、調査対象地を任意に踏査して実施した。
(参考資料 1 3 市域の生き物情報参照)

※市内河川における水生生物については、水環境保全計画に基づき、市内全 12 地点を 4 地点ずつ 3 年間のローリング方式で、夏季の一日に調査を実施している。調査地点は以下のとおり。(参考資料 1 3 市域の生き物情報参照)

- ・三沢川下の橋
- ・二ヶ領本川ひみず橋
- ・二ヶ領用水円筒分水下流
- ・二ヶ領用水宿河原線
- ・渋川八幡橋

○確認された主な植物・生き物



ヒョドリジョウゴ



コナスビ



カルガモ



コゲラ



シジュウカラ



メジロ



ニホンカナヘビ



ニホンヤモリ



オオカマキリ

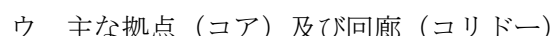
その他、このエリアで確認された主な植物・生き物

植物	ムラサキケマン、キツネノボタン、セリ、タネツケバナ、オトコエシ、ヤブカンゾウ
哺乳類	アズマモグラ
鳥類	エナガ、ツグミ、ジョウビタキ、シメ、コサギ、カワセミ
魚類	ギンブナ、オイカワ、ウグイ、モツゴ、ニゴイ、メダカ類、ボラ類、ウキゴリ、ビリンゴ、マハゼ
昆虫類	アブラゼミ、アオドウガネ、シロテンハナムグリ、ナミアゲハ、オニヤンマ、ショウジョウトンボ、ハイイロゲンゴロウ、オンブバッタ

(環境省レッドリスト・神奈川県レッドデータブックに記載される種は除いています)

ア エリアの概況

- ## イ エリアの状況



- 主な拠点（コア）となるもの

○主な回廊（コリドー）となるもの

○取組の方向性

- 77



参考 主な拠点（コア）及び緑道で活動している緑の活動団体等

場所	活動団体等
夢見ヶ崎動物公園（幸区市民健康の森）	さいわい加瀬山の会
さいわいふるさと公園	さいわいふるさと公園管理運営協議会
富士見公園	はぐくみの里ヒマワリ有志団体
桜川公園	桜本一グリーンサークル、NPO 法人桜川公園愛護会
さいわい緑道	さいわい緑道西地区管理運営協議会、さいわい緑道東地区管理運営協議会

《コラム》緑化推進重点地区

緑化推進重点地区は、川崎市域において、重点的に緑化の推進に配慮を加えるべき地区のことで、この地区内の緑化を効果的に推進するために、「緑の基本計画」に基づいて定められています。令和 2（2020）年度現在、市内に 8 地区の指定がありますが、「低地の市街地生態系エリア」及び「臨海部生態系エリア」内にある 3 地区の地区計画の概要は次のとおりです。

○新川崎・鹿島田駅周辺地区緑化推進重点地区計画（平成 26（2014）年策定）

基本方針「1 まちの顔となる緑のランドマークづくり」「2 歴史と文化の薫るまちづくり」「3 多摩川・鶴見川からの風の道づくり」「4 緑をつなぐ人づくり」

○川崎駅周辺地区緑化推進重点地区計画（平成 15（2003）年策定）

基本方針「1 四季折々の花見の場づくり」「2 まちづくりと緑の調和」「3 緑の総量の増加」「4 旧東海道を中心とした文化的資産を活かした緑のまちづくり」「5 パートナーシップによる緑の充実」

○川崎臨海地区緑化推進重点地区計画（「かわさき臨海のもりづくり」緑化推進計画）（平成 28（2016）年策定）

基本方針「1 エリアの特性に応じた「緑のゾーン」を設定します」「2 臨海のもりの骨格となる「緑の軸」をつくります」「豊かな緑創出を担う「緑の拠点」をつくります」

低地の市街地生態系エリアで確認された主な植物・生き物

○調査概況

調査地点	主な環境		
	樹林	草地	水辺・湿地
A:南河原公園及びさいわい緑道	○	○	○
B:大師公園	○	○	○

A: 南河原公園及びさいわい緑道



樹林



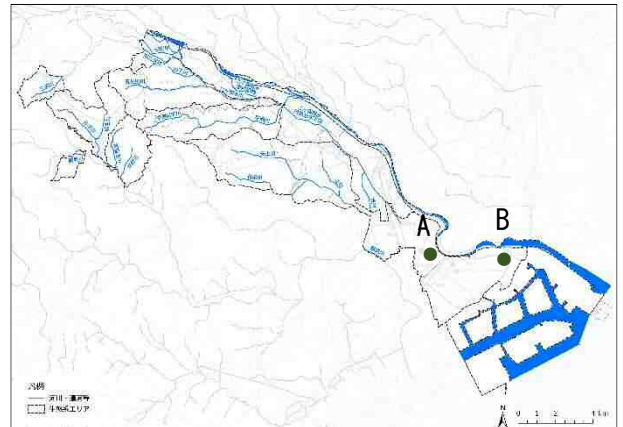
草地



緑道



水辺



B: 大師公園



樹林



草地



水辺



水辺

	植物	哺乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	計
確認種数	483 種	0 種	26 種	4 種	0 種	251 種	764 種

※調査は、専門知識を有する事業者により季節毎に半日程度、調査対象地を任意に踏査して実施した。
(参考資料 1 3 市域の生き物情報参照)

○確認された主な植物・生き物



ノブドウ



カタバミ



カルガモ



ツグミ



メジロ



ニホンヤモリ



ツマグロヒョウモン



ナミアゲハ

その他、このエリアで確認された主な植物・生き物

植物	ナズナ、ホトケノザ、ハハコグサ
鳥類	コゲラ、チョウゲンボウ、オナガ、シジュウカラ、ジョウビタキ、カワセミ、ハクセキレイ
昆虫類	カネタタキ、ハラビロカマキリ、ミンミンゼミ、アオドウガネ、シロテンハナムグリ、アオスジアゲハ、ギンヤンマ、シオカラトンボ

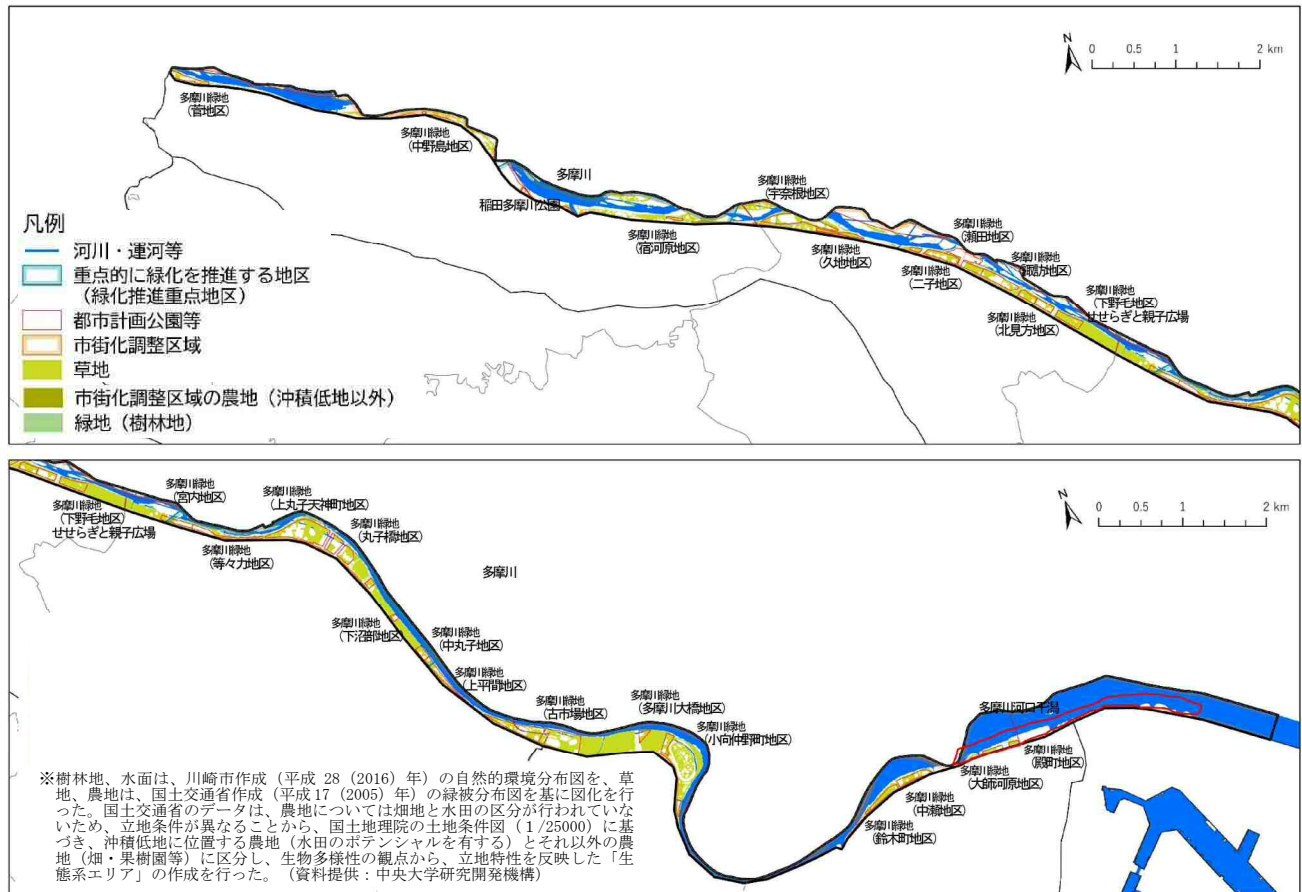
(環境省レッドリスト・神奈川県レッドデータブックに記載される種は除いています)

(11) 多摩川生態系エリア

ア エリアの概況

- ・多摩川河川区域の全体が生き物の生息・生育環境となっている

イ エリアの状況



ウ 取組の方向性

- ・多摩川に関する総合的な施策を展開するための計画である「川崎市新多摩川プラン」に基づく取組の推進

川崎市新多摩川プランの概要

多摩川に関する総合的な施策を展開するための計画として平成 28（2016）年に策定し、基本理念や5つの基本目標を掲げ、施策を推進している。

●基本目標

I. 自然と調和した 美しい多摩川へ	II. 多摩川を知り災害 から市民を守る	III. 子どもの生きる力を 育む場の創造	IV. 多摩川とともに歩む みんなの暮らし	V. つながりを深めて 魅力的な流域へ
自然環境 景観の保全	治水整備 防災教育	歴史的資源の活用 環境学習の推進	施設の利便性向上	流域連携 協働事業の推進

主に、「基本目標 I 自然と調和した美しい多摩川へ」に生物多様性に関連する施策を位置づけ、取組を推進している。

6. 生物多様性の保全に向けた普及啓発等の推進

河川は、多種多様な生物の生育・生息空間として、豊かな生態系の成立や生物多様性の保全の維持に大きな役割を果たしています。そのため、生物多様性の保全に向け、多摩川がもともと有していた多様な河川環境と多摩川らしい生物の生息・生息環境の保全・復元、連続した環境の確保、水循環の確保などに取り組む必要があります。

生き物たちの賑わい豊かな河川を目指し、まず、地域や市民が一体となって多摩川流域の生物の生息・生育の実態を学び、生物多様性の保全に向けた普及啓発に取り組みます。

【主な実施事業】

- ・川崎ふるさと生き物さがし（かわさき生き物マップの運用）
- ・身近な生き物観察教材の作成・配布

川崎市新多摩川プラン 生物多様性関連項目



参考 主な拠点（コア）及び河川で活動している緑の活動団体等

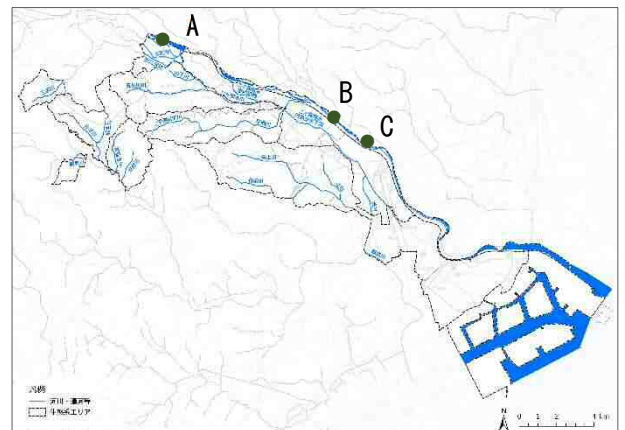
場所	活動団体等	備考
多摩川	NPO 法人多摩川エコミュージアム※、NPO 法人とどろき水辺、NPO 法人 多摩川干潟ネットワーク	※国土交通大臣表彰 手づくり郷土賞大賞受賞（H29）
中瀬河川敷	花を愛する友の会	
幸区土手（水上バス川崎発着場付近）	MRT (Moon River Tama)	
多摩川緑地等々力地区	多摩川園芸クラブ	
等々力土手	多摩川等々力土手のさくらを愛する会	

多摩川生態系エリアで確認された主な植物・生き物

○調査概況

調査地点	主な環境		
	樹林	草地	水辺・湿地
A:多摩川緑地（菅地区）	○	○	
B:多摩川緑地（下野毛地区）		○	○
C:多摩川緑地（等々力地区）	○	○	○

A:多摩川緑地（菅地区）



B:多摩川緑地（下野毛地区）



C:多摩川緑地（等々力地区）



	植物	哺乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	計
確認種数	353 種	5 種	65 種	6 種	2 種	360 種	791 種

※調査は、専門知識を有する事業者により季節毎に半日程度、調査対象地を任意に踏査して実施した。
（参考資料 1 3 市域の生き物情報参照）

○確認された主な植物・生き物



ハマダイコン



ススキ



オニグルミ



オオバン



ダイサギ



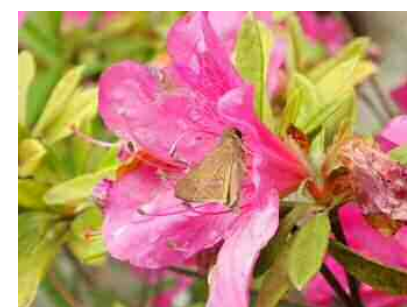
ツグミ



カワセミ



ニホンカナヘビ



イチモンジセセリ

その他、このエリアで確認された主な植物・生き物

植物	アカメヤナギ、ミゾソバ、オギ、ヨシ、イヌタデ
哺乳類	アズマモグラ、タヌキ
鳥類	カシラダカ、タヒバリ
昆虫類	ゴマダラチョウ、ギンヤンマ、コシアキトンボ、エンマコオロギ、ツチイナゴ、ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、オオカマキリ、マメコガネ、ナナホシテントウ、ベニシジミ

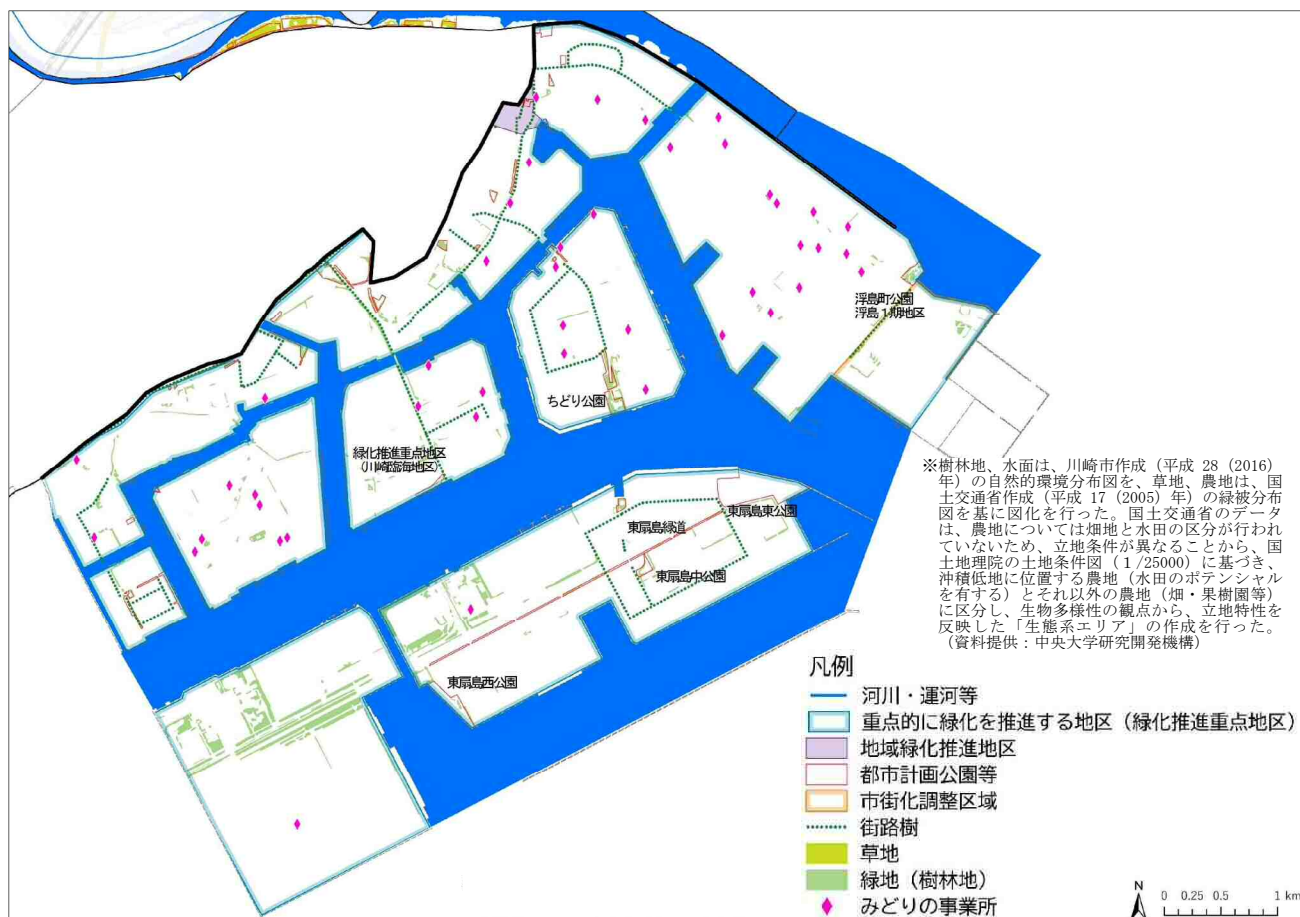
(環境省レッドリスト・神奈川県レッドデータブックに記載される種は除いています)

(12) 臨海部生態系エリア

ア エリアの概況

- ・自然的環境の分布は少ないが、海域に面しており、事業所の緑地等が存在している
- ・事業所による緑化活動が活発

イ エリアの状況



ウ 取組の方向性

- ・事業所緑地や港湾緑地・都市公園などを街路樹等の緑でつなぎ、運河等の水環境を含めて、臨海部全体を緑豊かな「もり」とする臨海のもりづくりの推進
- ・「風の道」の形成を図るため、水際線の事業所との連携による緑化や、主要幹線道路の街路樹整備などを推進
- ・「川崎港緑化基本計画」に基づき、港湾環境を活かした緑地や親水空間の整備を推進



参考 主な拠点（コア）及び河川で活動している緑の活動団体等

場所	活動団体等	備考
浮島町公園（川崎区市民健康の森）	海風の森を MAZU つくる会	
	浮島町公園管理運営協議会	川崎市環境功労者表彰受賞（H29）

《コラム》事業所緑化（緑の基本計画より）

市街地の中に事業所の敷地の占める割合が大きい本市にとって、事業所の緑は地域緑化の推進に大きな役割を果たしています。様々な樹種が植栽された事業所の緑は、地域住民や通行人にうるおいを与えるだけでなく、実のなる木や花の咲く木を求める野鳥や昆虫など生き物の生息地としても貢献しています。

昭和 47（1972）年以降、緑豊かなまちづくりを進めるために市内事業所と緑化の推進に関する協定を締結し、また、平成 17（2005）年から事業所敷地内の緑化率向上のために「川崎市みどりの事業所推進協議会」を設置し、情報交換や施設見学会、講演会を開催する等、緑化を推進するための様々な支援を実施しています。

平成 30（2018）年度事業所緑化データ

協定締結事業所 65 事業所 緑化率 11.0%（昭和 47（1972）年発足時 3.6%）
緑 化 面 積 151.9ha

臨海部生態系エリアで確認された主な植物・生き物

○調査概況

調査地点	主な環境		
	樹林	草地	水辺・湿地
A:浮島町公園（川崎区市民健康の森）	○	○	○
B:ちどり公園	○	○	
C:東扇島西公園	○	○	

A:浮島町公園（川崎区市民健康の森）



樹林



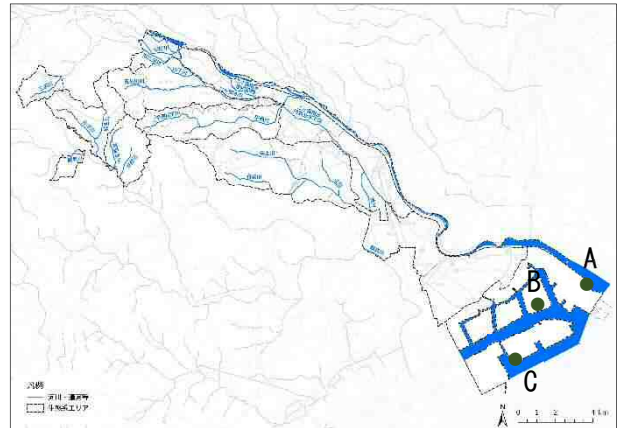
水辺



草地



海岸



B:ちどり公園



樹林



草地



海岸

C:東扇島西公園



樹林



草地



海岸

	植物	哺乳類	鳥類	は虫類	両生類	昆虫類	計
確認種数	454 種	2 種	41 種	2 種	0 種	231 種	730 種

※調査は、専門知識を有する事業者により季節毎に半日程度、調査対象地を任意に踏査して実施した。
（参考資料 1 3 市域の生き物情報参照）

○確認された主な生き物



オナガ



ユリカモメ



ハクセキレイ



スズガモ



スズガモ



ニホンヤモリ



アオスジアゲハ



アオドウガネ

その他、このエリアで確認された主な植物・生き物

植物	トベラ、ノブドウ、イタドリ、ハマダイコン、カジイチゴ、ガガイモ、チガヤ
鳥類	シジュウカラ、メジロ、カワウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ウミネコ、イソヒヨドリ
昆虫類	ハラビロカマキリ、アブラゼミ、ツクツクボウシ、シロテンハナムグリ、ナミアゲハ、シオカラトンボ、エンマコオロギ、マダラスズ、ショウリョウバッタ、ベニシジミ

(環境省レッドリスト・神奈川県レッドデータブックに記載される種は除いています)

第5章 生物多様性の保全の推進と進行管理

生物多様性の観点から見た川崎市の特徴として、日本有数の大都市において環境への意識の高い市民、事業者による活発な活動があることが挙げられ、生物多様性の保全を効果的に進めていくには、引き続き多様な主体と連携して取組を進めることが重要である。

1 各主体に期待される主な役割

主体	期待される主な役割	行動例
市民 (市民団体)	生物多様性を身近なものとして捉えて、配慮した行動を実践する	・省エネや資源循環への協力等、日常からの環境に配慮したライフスタイルの実践 ・エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選ぶ ・地産地消や農体験等を通じた、都市農業への理解と協力 ・家庭からの環境教育・学習への協力 ・環境教育・学習への参加 ・ペットの終生飼養 ・緑地保全活動への参加 ・地域緑化活動や、自然観察会等の自然とふれあう機会への積極的な参加 ・花壇づくりや屋上・壁面緑化の推進等の地域緑化の推進 ・緑化の際にはできるだけ郷土種を利用する等の生態系への配慮 ・二ヶ領用水や河川の美化活動等、河川環境保全活動への参加 ・臨海部の環境向上への参加 ・生き物調査等への協力 ・活動の情報、自然情報等の記録や他の主体への情報提供
事業者	事業活動と生物多様性との関係性を把握し、配慮した活動を実践する	・材料調達でのグリーン購入等、事業活動における環境配慮の実践 ・環境教育・学習の推進 ・他主体への環境教育・環境学習の場の提供や出前講座等の協力 ・環境保全の人材育成等への積極的な取組 ・環境対策の積極的な推進 ・地域活動への参加や支援 ・緑地確保や緑化に当たっての生き物の生息・生育空間としての機能への留意 ・市域のエコロジカルネットワーク構築に向けた積極的な緑化等の推進 ・「臨海のもり」づくりへの参画 ・生き物調査への協力 ・敷地内の自然環境調査の実施や情報の提供 ・生物多様性の保全に寄与する新たな知見や技術の開発 ・事業者が単独又は団体等で自主的に策定している手引き、ガイドライン等を活用した取組の推進

主体	期待される主な役割	行動例
行政	生物多様性の大切さなどをわかりやすく啓発するとともに、事業者として配慮した活動を実践する	・生物多様性に関する普及啓発や環境に配慮したライフスタイルの促進 ・生物多様性に関するわかりやすい広報の実施 ・自然や環境保全について学ぶ環境教育・学習の推進 ・環境学習に係る多様な主体と連携した取組の推進 ・農地、樹林地、水辺地等を利活用した人と自然、生き物とのふれあいの機会づくり ・生き物の生息・生育の拠点となる農地や樹林地、水辺地等の保全 ・公共施設整備や緑化推進等による拠点の創出等、緑と水のネットワークの構築に向けた取組 ・生き物情報の収集と管理 ・情報のネットワークの構築 ・生物多様性等への新たな知見を生み出す機会づくり ・活動の情報共有や交流の場づくり

2 進行管理について

生物多様性かわさき戦略は、川崎市の施策を生物多様性の保全と利用という観点で横断的に体系整理していることから、進行管理にあたっては、「環境基本計画」や「緑の基本計画」など関連する各計画等における進捗管理との整合を図る必要がある。今後、検討される環境基本計画年次報告書の見直しに即して、効果的・効率的な進行管理をすることが望ましい。

また、戦略の進捗については、毎年点検を行った上、結果を公表し、意見等をいただきながら、より良くしていくことが必要である。

なお、新たな戦略については、戦略の計画期間内であっても、国家戦略の動向や社会状況の変化を踏まえて、必要に応じて、再度検討していくことが望ましい。